

報道関係各位

平成31年2月6日

「モンスターエナジー・ヤマハ・MotoGP」 新型マシン 2019年型YZR-M1を発表 ロッシ「新しいYZR-M1に乗って再び走ることが楽しみ」



本年度よりモンスターエナジーがタイトルスポンサーを務めるMotoGPチーム「モンスターエナジー・ヤマハ・MotoGP」の2019年度のチームプレゼンテーションが2月4日（月）インドネシア・ジャカルタで行われました。

2019年型YZR-M1は、モンスターエナジーの黒とヤマハ発動機のトレードカラー「ヤマハブルー」が融合したカラーリングに、カウル側面の大きなモンスターエナジーの「クロー（爪）」が印象的なマシンで、アンバールした瞬間、会場からは大きな歓声が起こりました。ヤマハ・ファクトリー・レーシング3年連続の所属となるバレンティーノ・ロッシ（Valentino Rossi）とマーベリック・ビニャーレス（Maverick Viñales）が黒を基調とした新しいレザースーツに身を包んで登場し、ロッシは「僕は新しいシーズンの開幕と、新しいYZR-M1に乗って再びレースで走ることができるのを非常に楽しみにしているよ！」と笑顔でコメントしました。

モンスターエナジーの会長兼CEOのロドニー・サックス（Rodney Sacks）は、「この度、自らを『モンスターエナジー・ヤマハ・MotoGP』チームのタイトルパートナーと呼ぶことに大きな誇りを感じている。我々は、次の冒険の新しい幕開けを心から楽しみにしており、ヤマハチームと、その背後にいる不断の努力を惜しまないすべての人々にとって、MotoGPの2019年シーズンが最高の一年であることを強く願っている。」と今年度の意気込みを語りました。

ヤマハ発動機とモンスターエナジーの繋がりは2008年のモトクロス世界選手権以来10年の歴史があり、MotoGPでもこれまで何シーズンもの間、共にレースを戦い続け、ファンの熱い期待を一身に集めてまいりました。2019年シーズンの新生「モンスターエナジー・ヤマハ・MotoGP」にぜひご注目ください。

■コメント**《バレンティーノ・ロッシ (Valentino Rossi)》**

「僕は新しいシーズンの開幕と、新しいYZR-M1に乗って再びレースで走ることができるのを非常に楽しみにしているよ！これまで以上に好調で、勝ちを狙いに行く思いが強い。この思いは不変だ。そして、努力を重ねれば今年の反省点を活かして改善し、再びトップの座に立つことができると確信している。」

《マーベリック・ビニャーレス (Maverick Viñales)》

「僕ら全員にとって、全く新しいスタートだ。新しいタイトルスポンサー、新しいチームカラー、そして、僕にとっては新しいバイクナンバーだ。すべてが非常に順調に進んでいるから、今僕たちがすべきことはプレシーズンのテストを着実に実施することだよ！」

**《モンスターエナジー 会長兼CEO ロドニー・サックス (Rodney Sacks)》**

「10年以上もの長い間、当社はMotoGPの最も象徴的な2つのレースにおけるタイトルスポンサーとしてライダーやチームを情熱的に支援してきた。そしてこの度、自らをモンスターエナジー・ヤマハ・MotoGPチームのタイトルパートナーと呼ぶことに大きな誇りを感じている。我々は、次の冒険の新しい幕開けを心から楽しみにしており、ヤマハチームと、その背後にいる不断の努力を惜しまないすべての人々にとって、MotoGPの2019年シーズンが最高の一年であることを強く願っている。」

《モンスターエナジー スポーツマーケティング部門 バイスプレジデント**ミッチ・コヴィントン (Mitch Covington)》**

「MotoGPでは、ヤマハファクトリーレーシングと共に6年間かけて築き上げ、10年間バレンティーノ・ロッシとともにレースを共に戦って打ち立てたパートナーシップの強い絆がある。マーベリック、バレンティーノ、そして、ヤマハのMotoGPLレーシングチームの献身的なメンバーたちが我々のテーマカラーを身にまとうことで、我々は素晴らしい企業にいることを自覚している。」

《ヤマハ・モーター・レーシング 社長兼MS統括部長 辻幸一》

「我々は素晴らしいレースの資産を共有している。MotoGP選手権の2019年シーズンに向けて周到に準備を整え、レースの最高峰レベルで互角に戦うのみならず、勝ちたいという衝動を燃え上がらせるためには、このような推進力と熱意が必要だ。」

《ヤマハ・モーター・レーシング マネージング・ダイレクター リン・ジャービス (Lin Jarvis)》

「インドネシアは、ヤマハモーターグループにとって非常に重要な市場だ。ファンや地元のメディアのMotoGPに対する強い情熱が、さらに新型YZR-M1の魅力を際立たせる。アジアの中心地であり、明後日マレーシアで開催される初の公式テストの場に近いインドネシアは、チーム決起の場としては完璧なロケーションだった。ファンのだれもが、MotoGPの開幕をもう待ち切れなくてうずうずしているに違いない。」

■ 画像

